

平成21年12月期 第3四半期決算短信

平成21年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 アース製薬

コード番号 4985 URL <http://www.earth-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大塚 達也

問合せ先責任者 (役職名) 役員待遇 経営企画部部長

(氏名) 下川 善通

TEL 03-5207-7456

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|--------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年12月期第3四半期 | 89,364 | — | 11,175 | — | 11,353 | — | 6,341 | — |
| 20年12月期第3四半期 | 83,033 | 6.3 | 10,595 | △4.8 | 10,821 | △5.3 | 5,844 | △2.7 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年12月期第3四半期 | 315.87 | 315.01 |
| 20年12月期第3四半期 | 292.67 | 291.10 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年12月期第3四半期 | 81,748 | 45,815 | 51.0 | 2,071.08 |
| 20年12月期 | 64,470 | 40,541 | 56.8 | 1,825.75 |

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 41,699百万円 20年12月期 36,643百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|-------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年12月期 | — | 0.00 | — | 75.00 | 75.00 |
| 21年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 21年12月期(予想) | — | — | — | 80.00 | 80.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 100,287 | 6.1 | 5,634 | 11.4 | 6,022 | 15.9 | 2,982 | 19.8 | 148.42 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他(2)をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他(3)をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年12月期第3四半期 20,137,500株 20年12月期 20,073,000株

② 期末自己株式数 21年12月期第3四半期 3,070株 20年12月期 2,800株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年12月期第3四半期 20,077,355株 20年12月期第3四半期 19,970,507株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、天候等の急激な変化等の不確定な要素により、実際の業績は異なる場合があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(注) 連結経営成績に関する定性的情報の前年同期比及び前年同期の金額等は、参考として記載しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気底打ちの兆しが見られるものの、世界的な金融危機を背景に企業収益や設備投資が減少し、また雇用情勢の悪化による個人消費の停滞が見られるなど、依然として景気の先行き不安を払拭できない厳しい事業環境でありました。

このような状況のなか、当社グループは「価値創造による脱価格競争」をテーマに掲げ、価値を訴求する提案型営業を強化するとともに、機能性の高い製品や総合的な環境衛生サービスを提供してまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は893億64百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益は111億75百万円(前年同期比5.5%増)、経常利益は113億53百万円(前年同期比4.9%増)、四半期純利益は63億41百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

なお、当社グループは殺虫剤の売上構成比が高いため、売上高は3月～8月に集中する季節的な要因がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には著しい変動があります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

[家庭用品事業]

家庭用品事業におきましては、景気低迷による節約志向や生活防衛意識の強まりなどから個人消費が伸び悩む厳しい状況でありましたが、中核である殺虫剤部門を中心に多くの新製品を発売するとともに、店頭売場の充実を図るための人員増強など営業力を強化し、市場の活性化と売上の拡大に努めました。

以上の結果、当事業における売上高は771億24百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益は原材料費の上昇や経費の増加等があり105億46百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(百万円)

| | | 前第3四半期 連結累計期間 | 当第3四半期 連結累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|-----|-----------|------------------|------------------|-------|--------|
| 売上高 | 家庭用医薬品殺虫剤 | 6,305 | 5,830 | △474 | △7.5% |
| | 家庭用一般殺虫剤 | 36,195 | 38,519 | 2,324 | 6.4% |
| | 殺虫剤部門 計 | 42,500 | 44,350 | 1,849 | 4.4% |
| | 口腔衛生用品 | 16,787 | 17,540 | 753 | 4.5% |
| | 入浴剤その他 | 8,645 | 11,903 | 3,257 | 37.7% |
| | 日用品部門 計 | 25,432 | 29,443 | 4,011 | 15.8% |
| | ペット用品部門 | 2,358 | 2,627 | 269 | 11.4% |
| | その他製商品部門 | 867 | 702 | △164 | △19.0% |
| | 合計 | 71,158 | 77,124 | 5,965 | 8.4% |
| | 営業利益 | 9,983 | 10,546 | 563 | 5.6% |

(注) 売上高は外部顧客に対する売上高であります。

主な部門別の状況は以下のとおりであります。

殺虫剤部門

殺虫剤部門は、需要の最も大きい7月において長雨による日照不足など天候不順の影響を受けたものの、6月までの好天候や8月の残暑などにより市場が前年を上回って推移したことや、新製品の寄与などにより、売上高は443億50百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

家庭用医薬品殺虫剤分野におきましては、樹脂蒸散剤「バボナ」が本年6月施行の改正薬事法で第1類医薬品に指定され、店頭での売場が制限された影響等もあり、売上高は58億30百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

家庭用一般殺虫剤におきましては、主力品である液体蚊取り「アースノーマット」は前年を若干下回りましたが、ゴキブリ駆除剤が堅調であったことや、品揃えを強化した設置型虫よけ剤「バボナ虫よけネットW」及び「アース天然ハーブの虫よけ」が大幅に伸長しました。また、コバエ誘引殺虫ポット「コバエがホイホイ」も前年に引き続き順調に推移したことで、売上高は385億19百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

日用品部門

日用品部門は、取扱品目の増加などにより、売上高は294億43百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

口腔衛生用品分野におきましては、洗口液「モンダミン」や義歯洗浄剤「ポリデント」・知覚過敏予防歯磨き「シュミテクト」などが好調に推移し、売上高は175億40百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

入浴剤その他分野におきましては、入浴剤が順調に推移したことに加えて、前年9月より販売を開始した薬用石鹸「ミューズ」が、新型インフルエンザの発生により感染予防のニーズが高まった影響を受け、当初予想を大幅に上回ったことで、売上高は119億3百万円(前年同期比37.7%増)となりました。

ペット用品部門

ペット用品部門は、新製品が寄与したことや、連結子会社の(株)ターキーの売上が期初より加わったことで、売上高は26億27百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

[総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、景気低迷による工場の閉鎖・生産ラインの縮小による既存対象物件自体の減少や経費削減などにより、厳しい状況でありましたが、各企業に対応した独創的な品質保証の仕組みを取り入れたサービスの充実を図り、主な展開領域である食品・化粧品・医薬品・包装関連工場を中心に積極的な営業展開を行い、新規契約の獲得と既存取引の継続に努めました。

以上の結果、当事業における売上高は122億39百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は販売管理費が増加したこともあり11億45百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(百万円)

| | 前第3四半期 連結累計期間 | 当第3四半期 連結累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|------|------------------|------------------|-----|------|
| 売上高 | 11,874 | 12,239 | 365 | 3.1% |
| 営業利益 | 1,137 | 1,145 | 7 | 0.7% |

(注) 売上高は外部顧客に対する売上高であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べて172億78百万円増加し、817億48百万円となりました。これは、売上債権や有価証券が増加したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて120億4百万円増加し、359億33百万円となりました。これは、仕入債務や未払法人税等が増加したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて52億74百万円増加し、458億15百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より5.8ポイント減少の51.0%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ79億30百万円増加し191億20百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動の結果、増加した資金は101億42百万円となりました。これは、売上債権の増加が90億45百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益が113億15百万円、仕入債務の増加が40億53百万円あったことなどによります。

投資活動の結果、減少した資金は8億65百万円となりました。これは、定期預金の払戻による収入が7億80百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が12億00百万円、投資有価証券の取得による支出が3億18百万円あったことなどによります。

財務活動の結果、減少した資金は13億58百万円となりました。これは、主に配当金の支払額が15億5百万円あったことなどによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は、順調に推移しており、平成21年2月13日に公表した通期の連結業績予想に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(簡便な会計処理)

①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

③棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より平成18年7月5日公表の「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より平成18年5月17日公表の「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益に与える影響はありません。

④リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

これによるリース資産計上額に与える影響は軽微であり、また、損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位:百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日) |
|------------------|-------------------------------|-------------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,495 | 9,154 |
| 受取手形及び売掛金 | 21,812 | 12,767 |
| 有価証券 | 9,549 | 4,413 |
| 商品及び製品 | 10,021 | 9,974 |
| 仕掛品 | 741 | 944 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,125 | 3,041 |
| 繰延税金資産 | 2,080 | 891 |
| その他 | 905 | 1,538 |
| 貸倒引当金 | △37 | △87 |
| 流動資産合計 | 59,693 | 42,638 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 16,110 | 15,694 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △8,306 | △8,041 |
| 建物及び構築物(純額) | 7,803 | 7,653 |
| 機械装置及び運搬具 | 6,347 | 6,226 |
| 減価償却累計額 | △5,319 | △5,178 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,028 | 1,047 |
| 土地 | 5,129 | 5,128 |
| リース資産 | 7 | — |
| 減価償却累計額 | △0 | — |
| リース資産(純額) | 6 | — |
| 建設仮勘定 | 123 | 411 |
| その他 | 4,946 | 4,477 |
| 減価償却累計額 | △3,547 | △3,151 |
| その他(純額) | 1,398 | 1,325 |
| 有形固定資産合計 | 15,490 | 15,567 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 138 | 160 |
| リース資産 | 23 | — |
| その他 | 627 | 593 |
| 無形固定資産合計 | 789 | 753 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,785 | 4,555 |
| 繰延税金資産 | 614 | 532 |
| その他 | 619 | 429 |
| 貸倒引当金 | △245 | △7 |
| 投資その他の資産合計 | 5,775 | 5,510 |
| 固定資産合計 | 22,055 | 21,831 |
| 資産合計 | 81,748 | 64,470 |

(単位:百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日) |
|---------------|-------------------------------|-------------------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 17,032 | 12,973 |
| 短期借入金 | 616 | 186 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 231 | 153 |
| 1年内償還予定の社債 | 40 | 40 |
| 未払法人税等 | 5,035 | 1,107 |
| 未払消費税等 | 713 | 223 |
| 未払金 | 4,769 | 4,210 |
| 賞与引当金 | 923 | 328 |
| 役員賞与引当金 | 13 | 33 |
| 返品調整引当金 | 2,638 | 271 |
| その他 | 1,265 | 1,650 |
| 流動負債合計 | 33,279 | 21,178 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 80 | 120 |
| 長期借入金 | 87 | 326 |
| 退職給付引当金 | 1,480 | 1,315 |
| 役員退職慰労引当金 | 865 | 860 |
| その他 | 139 | 127 |
| 固定負債合計 | 2,653 | 2,750 |
| 負債合計 | 35,933 | 23,928 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,333 | 3,288 |
| 資本剰余金 | 3,124 | 3,079 |
| 利益剰余金 | 34,951 | 30,114 |
| 自己株式 | △8 | △7 |
| 株主資本合計 | 41,401 | 36,475 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 560 | 438 |
| 為替換算調整勘定 | △261 | △270 |
| 評価・換算差額等合計 | 298 | 167 |
| 少数株主持分 | 4,115 | 3,897 |
| 純資産合計 | 45,815 | 40,541 |
| 負債純資産合計 | 81,748 | 64,470 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日) |
|--------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 89,364 |
| 売上原価 | 54,285 |
| 売上総利益 | 35,078 |
| 販売費及び一般管理費 | |
| 運送費及び保管費 | 2,050 |
| 広告宣伝費 | 5,842 |
| 販売促進費 | 2,027 |
| 貸倒引当金繰入額 | 26 |
| 給料及び手当 | 5,695 |
| 賞与引当金繰入額 | 662 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 13 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 41 |
| 旅費及び交通費 | 900 |
| 減価償却費 | 414 |
| 地代家賃 | 438 |
| 研究開発費 | 1,032 |
| その他 | 4,757 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 23,902 |
| 営業利益 | 11,175 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 50 |
| 受取配当金 | 45 |
| 受取ロイヤリティー | 17 |
| 受取家賃 | 110 |
| 為替差益 | 13 |
| その他 | 148 |
| 営業外収益合計 | 387 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 18 |
| たな卸資産廃棄損 | 0 |
| 貸倒引当金繰入額 | 167 |
| その他 | 22 |
| 営業外費用合計 | 208 |
| 経常利益 | 11,353 |

(単位：百万円)

| 当第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日) | |
|------------------------------------------------|--------|
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 3 |
| 投資有価証券売却益 | 0 |
| その他 | 1 |
| 特別利益合計 | 4 |
| 特別損失 | |
| 固定資産売却損 | 0 |
| 固定資産除却損 | 39 |
| ゴルフ会員権評価損 | 3 |
| 特別損失合計 | 43 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 11,315 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,954 |
| 法人税等調整額 | △1,362 |
| 法人税等合計 | 4,592 |
| 少数株主利益 | 380 |
| 四半期純利益 | 6,341 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日) |
|-------------------------|---------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 11,315 |
| 減価償却費 | 1,214 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 594 |
| 返品調整引当金の増減額 (△は減少) | 2,367 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △9,045 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 76 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 4,053 |
| その他 | 1,552 |
| 小計 | 12,128 |
| 利息及び配当金の受取額 | 86 |
| 利息の支払額 | △18 |
| 法人税等の支払額 | △2,054 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 10,142 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有価証券の取得による支出 | △210 |
| 有価証券の売却による収入 | 354 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,200 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △318 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 0 |
| 定期預金の預入による支出 | △38 |
| 定期預金の払戻による収入 | 780 |
| その他の支出 | △279 |
| その他の収入 | 43 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △865 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 430 |
| 長期借入金の返済による支出 | △160 |
| 社債の償還による支出 | △40 |
| 株式の発行による収入 | 90 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 |
| 配当金の支払額 | △1,505 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △170 |
| その他 | △2 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,358 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 10 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 7,930 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 11,190 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 19,120 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

| | 家庭用品事業 (百万円) | 総合環境衛生 事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-----------------|-----------------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 77,124 | 12,239 | 89,364 | — | 89,364 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 394 | 111 | 506 | (506) | — |
| 計 | 77,518 | 12,351 | 89,870 | (506) | 89,364 |
| 営業利益 | 10,546 | 1,145 | 11,691 | (516) | 11,175 |

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 家庭用品事業 家庭用殺虫剤、日用品(洗口液、義歯関連用品、歯磨き用品、入浴剤、芳香洗剤等)、ペット用品、防疫・農林畜産薬剤及び海外向け殺虫剤原材料の製造販売及び仕入販売
- (2) 総合環境衛生事業 工場、病院等の衛生管理サービス

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

| 科 目 | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日) |
|----------------|-----------------------------------------------|
| | 金 額(百万円) |
| I 売上高 | 83,033 |
| II 売上原価 | 48,925 |
| 売上総利益 | 34,108 |
| III 販売費及び一般管理費 | 23,513 |
| 営業利益 | 10,595 |
| IV 営業外収益 | 374 |
| V 営業外費用 | 148 |
| 経常利益 | 10,821 |
| VI 特別利益 | 3 |
| VII 特別損失 | 339 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,485 |
| 税金費用 | 4,311 |
| 少数株主利益 | 329 |
| 四半期純利益 | 5,844 |

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日) |
|--------------------------------|-----------------------------------------------|
| 区 分 | 金 額 (百万円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1. 税金等調整前四半期純利益 | 10,485 |
| 2. 減価償却費 | 1,090 |
| 3. 売上債権の増加額 | △8,995 |
| 4. 棚卸資産の減少額 | 333 |
| 5. 仕入債務の増加額 | 3,334 |
| 6. その他 | 4,741 |
| 小計 | 10,990 |
| 7. 利息及び配当金の受取額 | 104 |
| 8. 利息の支払額 | △20 |
| 9. 法人税等の支払額 | △2,040 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 9,033 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1. 有価証券の取得による支出 | △268 |
| 2. 有価証券の売却による収入 | 429 |
| 3. 有形固定資産の取得による支出 | △1,141 |
| 4. 有形固定資産の売却による収入 | 18 |
| 5. 投資有価証券の取得による支出 | △943 |
| 6. 投資有価証券の売却による収入 | 14 |
| 7. 連結範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出 | △115 |
| 8. 貸付けによる支出 | △200 |
| 9. 定期預金の預入れによる支出 | △639 |
| 10. 定期預金の解約による収入 | 800 |
| 11. 関係会社清算による収入 | 23 |
| 12. その他の投資活動による支出 | △42 |
| 13. その他の投資活動による収入 | 23 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,041 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1. 短期借入金の純増減額 | 29 |
| 2. 長期借入れによる収入 | 460 |
| 3. 長期借入金の返済による支出 | △532 |
| 4. 社債償還による支出 | △30 |
| 5. 株式の発行による収入 | 158 |
| 6. 自己株式の取得による支出 | △1 |
| 7. 配当金の支払額 | △1,397 |
| 8. 少数株主に対する配当金の支払額 | △135 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,448 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △129 |
| V 現金及び現金同等物の増減額 | 5,415 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,612 |
| VII 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 19,028 |

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年1月1日至平成20年9月30日)

| | 家庭用品事業 (百万円) | 総合環境衛生 事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-----------------|-----------------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 71,158 | 11,874 | 83,033 | — | 83,033 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 420 | 112 | 533 | (533) | — |
| 計 | 71,579 | 11,987 | 83,566 | (533) | 83,033 |
| 営業利益 | 9,983 | 1,137 | 11,120 | (525) | 10,595 |

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 家庭用品事業 家庭用殺虫剤、日用品(洗口液、義歯関連用品、歯磨き用品、入浴剤、芳香洗剤等)、ペット用品、防疫・農林畜産薬剤及び海外向け殺虫剤原材料の製造販売及び仕入販売
- (2) 総合環境衛生事業 工場、病院等の衛生管理サービス

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年1月1日至平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年1月1日至平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 生産高（百万円） |
|----------------|----------|
| 家庭用品事業 | 57,268 |
| 合計 | 57,268 |

- (注) 1. 金額は、販売実績に基づいた価格によっております。
 2. 総合環境衛生事業はサービス事業であるため、生産実績はありません。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間における商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 仕入高（百万円） |
|----------------|----------|
| 家庭用品事業 | 18,494 |
| 総合環境衛生事業 | 589 |
| 合計 | 19,084 |

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、仕入実績に基づいた価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当社グループは、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

④ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 販売高（百万円） |
|----------------|----------|
| 家庭用品事業 | 77,124 |
| 総合環境衛生事業 | 12,239 |
| 合計 | 89,364 |

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

| 相手先 | 当第3四半期連結累計期間 | |
|------------|--------------|-------|
| | 販売高（百万円） | 割合（%） |
| 株式会社Paltac | 23,767 | 26.6 |
| 株式会社あらた | 10,179 | 11.4 |

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。